



このコーナーでは、ヤマウラが業務を通じて出会うことができましたお客様をご紹介します。

目指すのは「施設ではなく住まい」

ひとまちイキキキこころのひろば
社会福祉法人こころ

理事長 金子智子様
副理事長 藤澤仙芳様
管理統括 竹花高道様

諏訪市役所の道向かい、諏訪地域のシンボルでもある高島城と諏訪湖が望める好立地に建てられた介護福祉施設「ひとまちイキキこころのひろば」。社会福祉法人こころが運営するこの施設は、これまでの介護福祉施設のイメージを変える新しい形で、平成25年4月にオープンしました。小規模多機能型居宅介護事業所、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、特別養護老人ホームの4つの介護施設に加え、地域交流センターや温泉施設、内科・外科クリニックと歯科クリニック、さらには薬局と介護ショップが敷地内に設けられ、地域の誰もが利用できるスペースとなっています。
社会福祉法人こころの理事長の金子智子様、副理事長の藤澤仙芳様、管理統括を務める竹花高道様に「こころのひろば」にこめる思いについてうかがいました。

介護と医療を 兼ねそなえた複合施設

「こころのひろば」の最大の特徴は、単なる介護施設というだけでなく、敷地内に歯科クリニックと内科外科



理事長 金子智子様

副理事長 藤澤仙芳様

クリニックを併設し、医療と介護の両方を兼ねそなえた複合施設であるという点です。医療機関が介護分野に進出するということはあっても、その逆となる、介護事業者から医療分野へのアプローチというのは敷居が高く、全国的にも非常に珍しいケースだといえます。介護と医療の連携のモデルケースとして、県内外から「こころのひろば」へ視察に訪れる団体も多くあるとのことでした。

実は、「社会福祉法人こころ」にクリニックの先生方を紹介したのは、ヤマウラ営業本部医療福祉建築チームの伊藤晃志チーフ。それについて藤澤副理事長は「医療と介護を結び付けたいという思いがあったのですが、それを具体化するのには難しいと感じていました。私たちだけでは医師や看護師の確保が困難な中、ヤマウラさんがクリニックの先生方を紹介してくれたので現在の形にグレイドアップできました。」と語ってくれました。



伊藤晃志 チーフ

「こころのひろば」にクリニックの先生方を紹介したのは、ヤマウラ営業本部医療福祉建築チームの伊藤晃志チーフ。それについて藤澤副理事長は「医療と介護を結び付けたいという思いがあったのですが、それを具体化するのには難しいと感じていました。私たちだけでは医師や看護師の確保が困難な中、ヤマウラさんがクリニックの先生方を紹介してくれたので現在の形にグレイドアップできました。」と語ってくれました。

また、「クリニックの先生方は、とてもフットワークが軽く、外来の診察をするだけでなく、毎日頻繁に入居者のもとを訪れ気づかってくれています」と話すのは金子理事長。「入居者やそのご家族からも、医師が常駐していることで『とても安心できる』と言われます」。何かあった時に救急車を呼ばなくてもすぐに医師に診てもらえるという環境は、利用者に大きな安心感を与えています。

入居者の心地よい 生活のための設計と 充実のスタッフ数

窓の外には広いバルコニーが設けられ、諏訪湖や高島城を眺めることのできる本施設。さらに、晴れた日には富士山を、夏には諏訪湖の花火を観賞することもできると言います。このバルコニーへは車椅子で出入りできるよう、バリアフリー設計がされており、入居者が心地よく生活するための配慮がそこかしこに見られます。



木の梁が心安らく空間を演出します。

施設という壁をなくしたい

金子理事長の考える介護は「施設からの脱皮」だと言います。施設という壁をなくし、地域の人が気軽に訪れ、ごく当たり前に入居者の方と交流する、そんな空間にしたいという思いは、こころのひろばの各所に表れています。その1つが、地域交流センター。ここには、誰もが無料で利用できる足湯と多目的ホール、また1回300円で利用することのできる温泉が設置されています。多目的ホールは、地域の人の趣味や会合など



毎日利用者に合った食事が作られます。

に活用されており、1年間で合計280回もの利用があったそうです。

このほかにも、敷地内で定期的に行なわれている地元野菜の販売等の際には、入居者だけでなく地域に暮らす方々も「こころのひろば」を訪れます。また、地域住民から広く利用されているクリニックや、介護ショップ、薬局——これら全ての

らね」と優しく語りました。入居者への丁寧な対応を motto に、スタッフの手による介助を実践するには人数と教育が欠かせないそうです。とはいえ、経営面との兼ね合いもあるため、単純にスタッフを増やせば良いというものでもありません。スタッフへの安定した給与支給も大切な一方、入居料を抑え、誰もが利用しやすいサービスを提供することも必要な要素です。「継続して経営できる体制を作ることが大切ですが、高齢者問題は単純にはいけません。今後、国の対策にも期待したい」と話します。



同施設自慢の檜風呂

の根本にあるのは、「こころのひろば」が、単純に「入居者のための施設」というのではなく「地域に開かれた広場」という思いです。営業の伊藤チーフは、「単に福祉や介護の拠点となるだけでなく、地域に刺激を与

「入居者がここを最終の棲家として、最後まで安心して生活できる場所にしたい」と

終の棲家として

と金子理事長。社会全体の高齢化が進む中、年をとっても住み慣れた場所での心安らかに生活したいという願いにこころは設立されました。人こころは設立されました。設立から5年、前身の活動から数えると9年以上が経ちますが、その思いは現在も変わらず、金子理事長はあたたかなまなざしで高齢者福祉にかける思いを語ってくれました。

社会福祉法人 こころ
TEL.0266-54-5610 長野県諏訪市高島1-21-14

- 屋根付バス停
- 地域交流センター (温泉・足湯・多目的ホール) TEL.0266-54-5614
- バリアフリーの通路
- あおば歯科クリニック (2014年8月開院)
- 介護ショップ・多目的スペース TEL.080-6933-2588 (介護ショップ携帯番号)
- やざわ虎クリニック 内科・外科 TEL.0266-57-8300
- こころ薬局 TEL.0266-54-2788